

2025年（令和7年）6月18日 午後2時

府政記者会 会員各位
関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

魚介類資源の増大をめざして

大阪湾でメバル1万尾を放流します

成長や放流適地を調査中！

環農水研と栽培漁業センターでは、大阪湾の魚介類資源を増やすため、魚介類の稚魚を育てて放流する「栽培漁業」を大阪府の計画のもとで推進しています。その一環として、このたびメバル^{※1}の稚魚放流を下記の通り実施します。今回は、第45回全国豊かな海づくり大会「魚庭（なにわ）の海おおさか大会」記念リレー放流^{※2}の一環としても行います。

環農水研では、メバルに標識を装着して放流し、その後は継続的に標識個体の漁獲情報を収集・解析します。これにより、大阪湾での成長速度の推定やメバルの生息に適した放流場所の検討など、効果的な放流技術の確立をめざした調査研究を進めます。

栽培漁業センターでは、メバルが放流サイズに達するまで育成し、メバル稚魚の安定的な飼育技術の開発を行っていきます。

記

放流種：メバル

放流個体数：1万尾

放流サイズ：全長約10センチメートル
(体重約20グラム)

放流予定日：1回目：2025年6月27日（金曜日）

2回目：2025年12月中下旬

※各回につき5千尾を放流します。

放流場所：岬町周辺地先



標識を付けたメバル種苗

※1 現在メバルは3種（アカメバル、クロメバル、シロメバル）に分類されていますが、ここではわかりやすくメバルと称します。

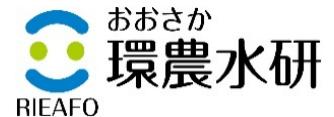
メバルは食味がよく食卓でも人気の高い魚です。遊漁対象としても人気の魚で、「春告魚（はるつげうお）」として親しまれています。大阪府内では刺し網漁等で漁獲されていますが漁獲量は多くなく、資源増大が望まれているため2022年度から放流技術開発魚種に選定され、稚魚放流を行っています。

※2 2026年11月15日（日曜日）に開催する第45回全国豊かな海づくり大会「魚庭（なにわ）の海おおさか大会」の機運を醸成するとともに、「つくり育てる

漁業」の推進を図るため、府内各地でリレー形式にて稚魚の放流を実施しています。

○本件に関するお問合せ先

- ・地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）
水産研究部水産支援グループ 担当：木村・辻村
TEL：072-495-5252 FAX:072-495-5600



- ・公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場（栽培漁業センター）
担当：紀田・村尾
TEL:072-495-0516 FAX: 072-495-5787



環農水研のホームページはこちら

<https://www.knsk-osaka.jp/>



過去の放流情報、標識メバルの採捕報告はこちら

<https://www.knsk-osaka.jp/suisan/gijutsu/horyu/mebaru.html>

